

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

「交通広告グランプリ2013」

グランプリは、大塚製薬(株)「とどけ、熱量。」が受賞!!

7月29日(月)に、今年で25回目を迎えた「交通広告グランプリ」の各受賞作品の発表および贈賞式・祝賀パーティーが、ホテルメトロポリタン(池袋)で開催されました。

「交通広告グランプリ2013」は、2012年4月から2013年3月までの期間に、(株)ジェイアール東日本企画が販売・管理を行っている駅および車両のメディアに掲出された

交通広告作品を審査対象とした、交通広告最大の広告賞です。

この広告賞に、当協会は後援として参加しており、協賛の「東日本旅客鉄道(株)」「(株)東京メディア・サービス」と共に交通広告の更なる発展に寄与することを目指しています。

審査作品数は総計1660点で、仲畑貴志審査員長を始めとした8名の審査員による厳正なる審査の結果、グランプリ1点、各部門の最優秀部門賞5点と優秀作品賞25点、JR東日本賞1点の計32点が選出されました。

最高賞であるグランプリに輝いたのは、大塚製薬(株)「とどけ、熱量。」でした。女優の満島ひかりさんの横顔に、コピーを一言入れただけのシンプル



グランプリを獲得した大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部宣伝部長 中森好彦様(右)と(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長 小暮和之氏(左)

【審査員一覧】

●審査員長

仲畑 貴志氏 コピーライター

●審査員

川口 清勝氏 アートディレクター

十文字 美信氏 写真家

副田 高行氏 アートディレクター

田中 里沙氏 宣伝会議取締役編集室長

前田 知巳氏 コピーライター

原野 守弘氏 クリエイティブディレクター

日野 正夫氏 東日本旅客鉄道(株)

執行役員事業創造本部副部長

※敬称略

主催・・
株式会社ジェイアール東日本企画

な構成で、爽快さや美しさがダイレクトに伝わりと評価されての受賞となりました。また、4年目を迎えたデジタルメディア部門では、審査対象に新しく大型ビジョンが加わったことで、作品の幅がより一層広がりました。今回、東京駅に設置されている大型ビジョンのTOKYO MARU-VISIONの作品がJR東日本賞に選出されています。企画部門では、車両の床や



東京駅丸の内地下J・AD ビジョン



京浜東北線・根岸線 AD トレイン



東京駅丸の内地下アートロード

とどけ、熱量。

トイレの鏡など、空間やスペースの特性を活用し、商品の特徴と上手く合わせた作品が印象的でした。

贈賞式・祝賀パーティーは、受賞広告主・広告会社の皆様、審査員の方々、プレス関係者、協賛社を代表して東日本旅客鉄道(株)常務取締役事業創造本部長 森本雄司氏、同執行役員事業創造本部副本部長 日野正夫氏、(株)東京メディア・サービス代表取締役社長 佐々亨氏、当協会 今木甚一郎会長らが出席し、盛大に行われました。

贈賞式の中で、グランプリと各最優秀部門賞の受賞広告主様

には、(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長 小暮和之氏から表彰状、副賞、トロフィーが授与されました。今年は、アートディレクターで審査員も務める副田高行氏のデザインのもとデザインが一新され、東京駅丸の内駅舎をモチーフとしたトロフィーが完成した。



東京駅丸の内駅舎をモチーフとしたトロフィー。制作は、副田デザイン制作所。

しました。なお、受賞作品は一般に広く公開され、8月中旬から下旬にかけて、東京駅丸の内地下「アートロード」・「J・ADビジョン」で、展示会が開催されたほか、京浜東北線・根岸線ADトレイン「交通広告グランプリ2013号」が運行されました。

「交通広告グランプリ 2013」受賞作品リスト

部門	賞名	クライアント名	タイトル
グランプリ		大塚製薬株式会社	とどけ、熱量。
駅ポスター部門	最優秀部門賞	株式会社レコチョク	レコチョクBEST「思い出が再生する。キャンペーン」
	優秀作品賞	株式会社モンテローザ	白木屋男会キャンペーン
		東日本旅客鉄道株式会社	秋田新幹線スーパーこまち「JAPAN RED」
		株式会社読売新聞東京本社	編集手帳 AD ギャラリー
		株式会社クロスカンパニー	earth music&ecology
車内ポスター部門	最優秀部門賞	JR グループ	山陰デスティネーションキャンペーン
	優秀作品賞	サントリーホールディングス株式会社	恋する2人
		防衛省 海上幕僚監部 広報室	平成24年度自衛隊観艦式・海上自衛隊創立60周年
		株式会社朝日新聞社	学割
		東日本旅客鉄道株式会社	JR SKISKI × GReeeeN
サインボード部門	最優秀部門賞	ダイビル株式会社	ビルはビルでもダイビルです。
	優秀作品賞	マウリッツハイス美術館展 実行委員会	マウリッツハイス美術館展
		ラフォーレ原宿	HUMAN NATURE. LAFORET
		株式会社ルミネ	ルミネ バーゲン啓蒙広告
		本田技研工業株式会社	負けるもんか
デジタルメディア部門	最優秀部門賞	国立新美術館	「具体」展
	優秀作品賞	サントリーホールディングス株式会社	JR東京駅・新橋駅地下通路デジタルシートセット(黒烏龍茶)
		サントリーホールディングス株式会社	サントリー 恋する環境広告シリーズ
		エイベックス通信放送株式会社	ドコモビデオ Powered by BeeTV
		株式会社ヤナセ	ヤナセ企業CM ブリッジ篇
企画部門	最優秀部門賞	ライオン株式会社	「ナノレベルの白さへ」キャンペーン
	優秀作品賞	アシックスジャパン株式会社	アシックスブランド広告・2020東京オリンピック招致
		ビックロ (株式会社ビックカメラ / 株式会社ユニクロ)	ビックロ オープニング広告
		株式会社メニコン	Magic 1day Menicon Flat Pack
		寺田倉庫株式会社	minikura「不動産広告パロディ」
JR 東日本賞		東宝東和株式会社	「SNOW WHITE」魔法の鏡広告
		株式会社トヨタマーケティングジャパン	ReBORN CROWN

●最優秀部門賞 株式会社レコチョク レコチョクBEST「思い出が再生する。キャンペーン」



●優秀作品賞
株式会社モンテローザ
白木屋男会キャンペーン



●優秀作品賞 東日本旅客鉄道株式会社 秋田新幹線スーパーこまち「JAPAN RED」



●優秀作品賞 株式会社読売新聞東京本社 編集手帳 AD ギャラリー



●優秀作品賞 株式会社クロスカンパニー earth music&ecology



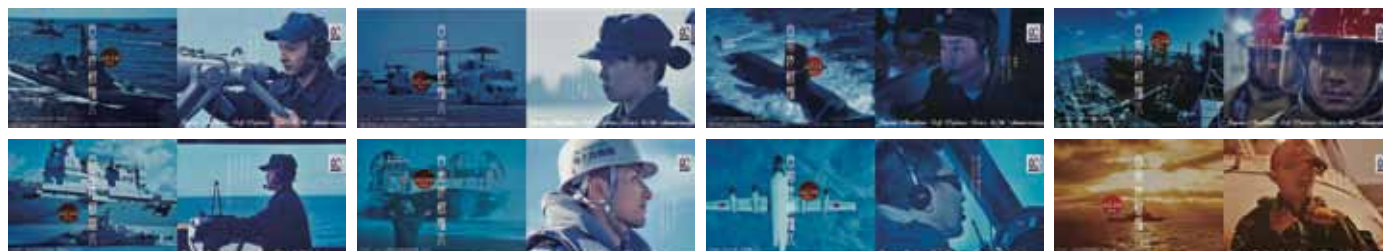
●優秀作品賞
日本コカ・コーラ株式会社 エメマン 新デザイン篇

車内ポスター部門

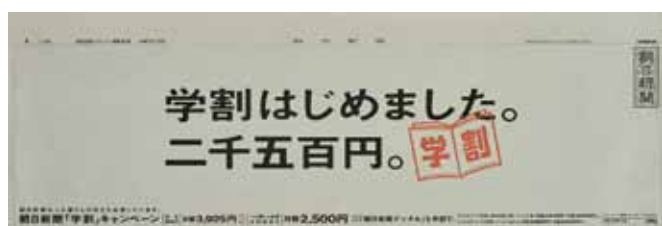
●最優秀部門賞 JRグループ 山陰デスティネーションキャンペーン



●優秀作品賞 サントリーホールディングス株式会社 恋する2人



●優秀作品賞 防衛省 海上幕僚監部 広報室 平成24年度自衛隊観艦式・海上自衛隊創立60周年



●優秀作品賞 株式会社朝日新聞社 学割



●優秀作品賞 東日本旅客鉄道株式会社 JR SKISKI x Greeeen



●優秀作品賞 JRグループ 北海道デスティネーションキャンペーン

●最優秀部門賞 ダイビル株式会社 ビルはビルでもダイビルです。



●優秀作品賞 マウリッツハイス美術館展 実行委員会 マウリッツハイス美術館展



●優秀作品賞
ラフォーレ原宿
HUMAN NATURE. LAFORET



●優秀作品賞 株式会社ルミネ ルミネ パーゲン啓蒙広告



●優秀作品賞
本田技研工業株式会社
負けるもんか



●優秀作品賞 株式会社ぐるなび 忘年会はお祭りだ。

デジタルメディア部門

●最優秀部門賞 国立新美術館 「具体」展



©藤子A・シンエイ・中央公論新社

●優秀作品賞 サントリーホールディングス株式会社 JR東京駅・新橋駅地下通路デジタルシートセット(黒烏龍茶)



●優秀作品賞 エイベックス通信放送株式会社
ドコモdビデオ Powered by BeeTV



●優秀作品賞 サントリーホールディングス株式会社
サントリー 恋する環境広告シリーズ



●優秀作品賞
株式会社ヤナセ
ヤナセ企業CM ブリッジ篇



●優秀作品賞
株式会社オリエンタルランド
Where dreams come true「夢はつづく」篇

●最優秀部門賞 ライオン株式会社 「ナノレベルの白さへ」キャンペーン



●優秀作品賞
アシックスジャパン株式会社
アシックスブランド広告・
2020東京オリンピック招致



●優秀作品賞 ビックロ(株式会社ビックカメラ/株式会社ユニクロ) ビックロ オープニング広告



●優秀作品賞
株式会社メニコン Magic 1day Menicon Flat Pack



●優秀作品賞
寺田倉庫株式会社 minikura[不動産広告パロディ]



●優秀作品賞 東宝東和株式会社
「SNOW WHITE」魔法の鏡広告



株式会社トヨタマーケティングジャパン ReBORN CROWN



広場

60年目を迎える「奈良大和路」のポスター

副会長 坂田 英洋 (株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ)

奈良県、奈良市、JR西日本、近鉄、奈良交通の5者共同で毎年制作され、全国の鉄道駅に掲出されている「奈良大和路」というポスターがある。このポスターは、奈良の歴史・文化の魅力を深め、奈良大和路への観光客誘致を促進することを目的として、昭和29年に初めて制作され、その後毎年1〜2回制作されてきた。今年で60年目、93回目を迎える。毎回、奈良の古寺にある仏像をテーマにして、しかも入江泰吉氏など著名な写真家が撮った写真を利用して制作されている。60年もの間、こんな長く同じテーマで継続しているポスターが他にあるのだろうか。京都とは違う、奈良の仏像という文化財の豊富さによるものであるうか。

どの仏像を題材にするかということ、5者が交代で幹事となり、専門家などの意見も取入れながら決定している。奈良に仏像がいかに豊富と言っても、ポスターの題材として相応しい仏像を93回とも違ったものにするという訳にはいかず、何回か同じ仏像が選ばれている。いままでに4回登場した仏像が3体、3回が6体、2回が10体、1回が42体で、合計61体の仏像が選ばれている。最も多い4回登場した仏像は、興福寺の阿修羅像(写真1)、中宮寺の如意輪観音像(写真2)、秋篠寺の伎芸天像(写真3)、秋篠寺の伎芸天像(写真4)である。いずれも有名で人気があり、絵になる仏像である。私も大好きな仏像である。私が最初に奈良の仏像に接したのは高校3年生の春休みで、友人2人と福井駅から夜行列車に乗り京都経由で奈良にきた時であった。いままで教科書でしか見たことがなかった古寺の建築や仏像を直接目にし、その素晴らしさに感動したことを覚えている。昭和44年、大学に入学し、古寺を探索するクラブに入会し、1〜2ヶ月に1回は奈良の古寺を巡り歩いた。当時は暗いお堂の中に置かれていた仏像が多く、懐中電灯は必携であった。その後も時々これらの古寺を訪れているが、特に最近では照明デザイナーを起用し、LED照明を用いて「見せる仏像」として陳列にも工夫がされている。

私がこの「奈良大和路」というポスターの存在に気付いたのは、大学に入学し、近くの駅をよく利用するようになってからである。入会したクラブの学生達にも、このポスターは人気があり、掲出期間の過ぎたポスターを駅員さんから貰い、下宿の部屋に飾っている者もいた。

平成7年から3年間、私は(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ(以下Jコミという)に勤務していた。その間の平成9年、77回目の「奈良大和路」のポスター制作をJR西日本から依頼され、薬師寺の聖観音立像(写真4)を題材にしたポスターが制作された。当時の担当の部長に「この仏像は横顔のアップがいい」という意見を言わせてもらった記憶がある。

それから、15年後、平成24年6月に私は2度目のJコミ勤務となり、ちょうどこの年に92回目のポスター制作をJR西日本から依頼された。Jコミとしては発足以来5回目の担当であった。今回は過去に選ばれたことのない仏像の中から、法隆寺金堂の釈迦三尊像中尊(写真5)を題材にしたポスターが制作された。「奈良大和路」のポスターに出会ってから40数年、奈良大和路・仏像・ポスターが何か私の中で繋がっていたような気がする。

写真1

興福寺 阿修羅像
天平時代 乾漆
(ポスター制作 H16)

写真2

中宮寺 如意輪観音像
飛鳥時代 木造
(ポスター制作 H23)

写真3

秋篠寺 伎芸天立像
天平時代(頭部のみ) 乾漆
(ポスター制作 H18)

写真4

薬師寺 聖観音立像
白鳳時代 銅造
(ポスター制作 H9)

写真5

法隆寺 釈迦三尊像中尊
飛鳥時代 銅造
(ポスター制作 H24)

次の広場も楽しみに。

近畿・中国・北陸支部

近畿・中国・北陸支部の 定期総会が開催される

7月8日（月）、ホテルグランヴィア大阪「鶴寿の間」において、近畿・中国・北陸支部「平成25年度定期総会」を開催しました。

開会にあたり、坂田支部長より次のような挨拶がありました。

『東日本大震災以降、日本経済は低迷しておりますが昨年より少しずつ回復の兆しが見え、広告業界においても、総広告費、鉄道広告費ともに、5年振りに前年実績を上回る結果と



坂田支部長

なりました。JAFFRAでは、ICT化への対応やアカウンタビリティの向上に向けた研究、地球温暖化防止やマナー向上のキャンペーンなどに取り組み、鉄道広告の価値向上や社会的地位の一層の向上を目指しているところでもあります。近畿・中国・北陸支部においても、各エリアの会員方と相互連携を深めながら、また本部と連携しながら、昨年から取り組みをより発展させていきたいと考えております。』

【総会】

審議事項

- ①平成24年度事業報告及び決算報告
- ②平成25年度事業計画及び予算案が承認されました。

報告事項は、幹事委嘱変更、代表者変更、支部事務局担当者の変更と、「第7回地球温暖化防止全国キャンペーン」の概要、「支部運営内規」の一部改正の報告がおこなわれました。

総会終了後には、セミナーと懇親会が開催されました。

【セミナー概要】

テーマ

『グランフロント大阪開発について』

ホテルグランヴィア大阪「名庭の間」にて、90名の会員が参加し、三菱地所(株)大阪支店次長兼グランフロント大阪室担当室長 茅野静仁氏による特別セミナーを開催しました。

JR大阪駅北側の「うめきた先行開発区域プロジェクト」として本年4月に開業しました「グランフロント大阪」の街のコンセプトづくりから、建物・設備の設計、商業、オフィス、ホテル、分譲住宅、ナレッジキャピタル等の街機能の開発、イベントや情報発信機能等のソフト設計、エリアマネジメントの仕組みづくりなど、プロジェクトの立ち上げから開業に至るまでの開発全般の経緯についてお話をいただきました。

また、「街の景観ガイドライン」の策定と統一性のある街の空間デザイン設計、その中でデジタルサイネージやストリートフラッグなどの街メディア開発など、街全体の機能やデザインと一体となったコミュニケーション機能のあり方についてお話をいただき、参加者にとって大変興味深い講演となりました。

(以上)

中部支部

中部支部総会を開催

【総会】
7月23日（火）、レセプションハウス名古屋通信会館において中部支部会員34社中24社の参加のもと、平成25年度中部支部定期総会を開催いたしました。

開会にあたり(株)ジェイアール東海エージェンシー代表取締役社長 阿久津支部長より、「広告を取り巻く環境は上向いており、そうした中で私達も取り組むべき課題にしっかりと対峙していく必要があります。また鉄道広告は生活者にとって非常に身近な存在であり、交通広告ならではの取り組みが重要と考えております。



支部総会で挨拶する阿久津支部長

今後とも会員各社の一層のご尽力、ご協力をよろしくお願いします。」と挨拶がありました。

報告事項として6月28日(金)に開催された本部定期総会について「平成24年度活動実績」及び「平成25年度事業計画」の報告が事務局である(株)ジェイアール東海エージェンシーよりありました。

続いて以下の議案について審議を行い、全て満場一致にて原案通り承認決議されました。

- ・平成24年度事業報告
- ・平成24年度決算
- ・平成25年度事業計画
- ・平成25年度予算

監査報告については会計責任者の(株)近宣名古屋支社長 井野口氏より報告がありました。

また、会計責任者の表示灯(株)取締役名古屋支社長 伊澤氏の異動により、表示灯(株)名古屋支社長 小椋氏へと改選されました。

【セミナー】

同日、同会場にて(株)電通コミュニケーション・デザイン・センター・シア・クリエイティブ・ディレクター/コミュニケーションデザイナーナール岸勇希氏による「人の気持ちをデザインする仕事。コミュニケーションデザイナーとストーリー」というテーマ



乾杯の発声をする高橋副支部長

まで120分のセミナーを開催し、114名の方に参加していただきました。情報過多やメディアの多様化により過渡期にある広告業界を踏まえ、



セミナー講師の岸勇介氏

コミュニケーションデザインという人を動かす技術について、多くの国内外の事例を交えてご講演くださいました。あらゆる手段を考えることで人の気持ちや感情をデザインする重要性をご説明いただき、参加者は真剣な表情で聴講していました。

【懇親会】

東海廣告(株)代表取締役社長の高橋副支部長の挨拶・乾杯に始まり、出席された支部会員の皆様は和やかな雰囲気の中会員各社の親睦を深めました。



お集まりいただいた会員社の皆さま

編集後記

今年の夏は30年に1度の異常気象だったそうです。竜巻や台風による、「経験したことのないような」強風や大雨という言葉がニュースで頻りに耳にしました。災害に遭われた皆さまにはお見舞い申し上げます。最近「異常気象」が恒例化しているようで気がかりです。京都嵐山の渡月橋も、秋の観光シーズンまでには復旧する予定だそうです。今年も秋を楽しみたいですね。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。

●次号Vol.21は12月1日発行予定です。お楽しみに。

今年も「エキからエコ。」にご協力をありがとうございました

第7回地球温暖化防止
キャンペーン実施報告

前号でもご紹介いたしましたように、2013年8月2日(金)～31日(土)のほぼ1か月にわたり、今年で7回目を迎える地球温暖化防止キャンペーンを展開し、無事終了いたしました。

今年の夏は高知県四十市で41・0℃という日本最高気温を記録するなど、猛暑日、熱帯夜も連続し、毎日のように熱中症に喚起を促す注意報が出るほどの暑さでした。その暑さの続く中、駅や車内に

「エキからエコ」のポスターが貼り出され、多くの方に目にしていたことができたと思います。夏休みの帰省や旅行で鉄道を利用される多くの皆さまが、エコについて改めて考えてみようと思っていたようなメッセージをビジュアルとコピーに込めて、JR、私鉄、地下鉄を含む35社の鉄道会社をはじめ、関係するハウスメージェンシー、広告会社、掲出撤去作業会社のご協力により、全国拠点エリアの鉄道メディアを活用して延べ50万枚のポスターを掲出することができました。

クリエイティブ制作も、おなじみになりました4名の著名アーティスト及びクリエイターにキャンペーンの趣旨に賛同いただき、ボランティアとしてご協力をいただきました。ここに深く謝意と敬意を表させていただきます。

また、昨年実験的に行ったデジタルサイネージでの展開も、今回は全国に広まっております。

今回も駅や車内で撮影したポスターの写真をFacebookやTwitterなどに投稿して、多くの皆さまが「エキからエコ」の情報を共有されていきました。毎年この時期にキャンペーンが行われていることを認識されている方もいらっしゃるかもしれませんが



JR北海道・札幌駅



JR東日本・仙台駅



JR東日本・熊谷駅



JR東日本・秋葉原駅デジタルサイネージ



京急電鉄・横須賀中央駅



横浜高速鉄道・横浜駅



JR東海・静岡駅



近畿日本鉄道・伊勢市駅



阪急電鉄・梅田駅



阪神電気鉄道・芦屋駅



JR西日本・天王寺駅



神戸交通局・神戸駅



JR四国・高知駅



JR九州・姪浜駅



西日本鉄道・西鉄福岡(天神)駅

た。以下はその一部です。
・★気になる言葉、気になる形状★
久しぶりに★気になる、「エキからエコ」。駅なかをはじめ、駅が新たなムーブメントの発信源の一つになっている。
・東京駅近くを歩いていて、このイ
ルカきになりました。

・エキもエコが当たり前の時代が来るんですね。
・仙台市地下鉄の中づり広告が夕方方に変わりますが、毎年この時期目にする全国のJR・私鉄共通の「エキからエコ」になるかも。
・エキからエコ(^.^)